



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 臨床研修部 鎌田 直樹

【研究責任者】

聖路加国際病院 臨床研修部 鎌田 直樹

【指導医】

聖路加国際病院 消化器内科 池谷 敬

当院入院中に食道・胃・十二指腸からの出血
を疑い胃カメラを受けられた方を対象とした
治療介入の必要性に関する研究

1.研究の対象

- ・2013年4月から2022年3月までに当院入院中に食道・胃・十二指腸からの出血（以下、上部消化管出血）を疑い内視鏡検査（胃カメラ）を受けられた方

2.研究の目的・方法

・救急外来に来院された上部消化管出血を疑う患者さんに対して、どのような方がその後重症となるのか、内視鏡検査が必要であるかについては今まで多くの研究がおこなわれてきました。しかしながら、実際には他の病気で入院されている患者さんも上部消化管出血を疑い内視鏡検査を行うか判断が必要な場合があります。入院中に上部消化管出血を疑い内視鏡検査を行うか、新たに薬物等を開始するかの必要性の基準は、今までに研究が少なく方針が定まっていません。

本研究は当施設で上部消化管出血疑いのため内視鏡検査を施行した患者について調査することで、出血とは異なる原因で入院したものの入院中に上部消化管出血を疑った患者さんにおける内視鏡処置、治療介入の適応の評価方法を明らかにすることを目的としております。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2023年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

- ・主なデータ項目は以下となります。

《情報》 カルテ番号、年齢、症状、併発疾患、内視鏡実施日、内視鏡目的、内視鏡検査所見、血圧、心拍数、血液検査結果、ピロリ菌検査歴、抗血栓薬（抗血小板薬、抗凝固薬）内服歴、胃酸分泌抑制薬内服歴、内視鏡検査後の経過、生検等